

ホンジュラス定期報告（2021 年 7 月）

2021 年 8 月

在ホンジュラス日本国大使館

1 内政

（１）新型コロナウイルス

ア 保健省発表による 7 月末現在のワクチン接種状況（保健省発表、2021 年 7 月 30 日時点）

1 回目接種済150万人、2 回目接種済20万人、合計170万人。少なくとも 1 回接種した人の割合は全人口の15%。

イ 当国のワクチン到着の状況は以下の通り（2021年7月30日時点）。

（ア）政府による購入：ファイザー社製約11万回分のみ到着済（契約440万回分）、ロシア製スプートニク V 4.6万回分のみ到着済（契約420万回分）、アストラゼネカ社製40.8万回分到着済（契約140万回分）

（イ）COVAXファシリティを通じた無償取得：396万回分（モデルナ社製約300万回分到着済、ファイザー社製約21.3万回分到着済）

（ウ）メキシコ政府からの譲渡：アストラゼネカ社製15万回分（到着済）

（エ）イスラエル政府からの譲渡：モデルナ社製0.5万回分（到着済）

（オ）エルサルバドル政府からの譲渡：アストラゼネカ社製約5.6万回分（到着済）

（カ）NGOから譲渡：モデルナ社製500回分

ウ 国内全土を対象とした夜間外出禁止令（午後10時～翌午前5時）は7月も終始継続。

エ 30日時点で、当国（人口約959万人）における感染者総数は297,111人、死者数は7,834人。（国家危機管理対策本部（SINAGER）発表）。

（２）大統領選挙に向けた動き

本年11月28日に実施予定の2021年大統領選挙等について、大統領選挙をはじめとする各選挙への立候補者が事実上確定した。大統領選挙への候補者は下記の通り。

ア 国民党（Partido Nacional）：ナスリ・フアン・アスフラ・サブラ（63歳、現テグシガルパ市長）

イ 自由党（Partido Liberal）：ジャニ・ベンハミン・ロセントル（56歳、起業家、セラヤ政権時大統領府大臣（2006年-2008年））

ウ リブレ党（Partido Libre）：イリス・シオマラ・カストロ（62歳、セラヤ元大統領夫人（2006年-2008年））

エ ホンジュラス救済党、革新統一党（PINU）同盟：サルバドル・ナスララ（68歳、2013年及び2017年大統領候補）

(以上、主要候補)

オ キリスト民主党 (Democracia Cristiana (DC)) : ロレナ・エンリケタ・エレラ・エステベス (51歳、元副大統領 (2014年ー2018年))

カ 民主統一党 (Unificacion Democratica (UD)) : ホセ・アルフォンソ・ディアス・ナルバエス (39歳、2017年大統領候補)

キ 反汚職党 (Partido Anticorrupcion (PAC)) : フリオ・セサル・ロペス・カサカ (57歳、人権擁護者)

ク 愛国同盟党 (Alianza Patriotica) : ロメオ・オルランド・バスケス (64歳、2013年及び2017年大統領候補)

ケ 拡大戦線党 (Partido Frente Amplio (FAPER)) : ケリン・ニノスカ・ペレス・ゴメス (35歳、2017年国会議員候補 (FAPER党))

コ バモス党 (Partido Vamos) : ホセ・ラモン・コト・ガルシア (54歳、弁護士)

サ 新しい道党 (Partido Nueva Ruta) : エスドラス・アマド・ロペス・ロドリゲス (57歳、元リブレ党国会議員 (2014年から2018年))

シ ホンジュラス民主開放党 (Liberacion Democratico de Honduras (LIDEHR)) : レンピラ・クアウテモック・ビアナ (66歳、サンペドロスーラ市市議会議員)

ス 我々皆ホンジュラス党 (Todos Somos Honduras) : マルロン・オニエル・エスコ
ト・バレリオ (45歳、元教育大臣 (2012年ー2015年))

セ 無所属 (3名)

・ミルトン・オマル・アビラ・ベニテス (44歳、社会学者ジャーナリスト)

・サントス・ロドリゲス・オレジャナ (年齢不明、元軍人)

・ヘスス・アレクシス・サガストウメ (年齢不明、起業家)

(3) その他

(ア) 1日、国家警察麻薬対策局 (DNPA) は、当国北部コロン県にある麻薬密輸組織のアジトを捜索し、同敷地内倉庫及び貨物用トラックの細工が施された荷台から合計913キロ、1,200万ドル相当のコカインを押収するとともに、4人を逮捕した。

(イ) 5日、当地主要各紙は、オランチョ県ドウルセノンブレデクルミ市とグリアシアスアディオス県ワンプシルピ市を繋ぐために建設され、世界自然遺産に登録されているリオ・プラタノ生物圏保護区を含む複数の生物保護区において違法伐採が行われている旨報じた。同違法道路は正式な建設の許可を得ているものではなく、本件の建設責任者も特定できていない。

(ウ) 5日、当国刑事裁判所 (1審) は、評決の結果、DESA社元代表カスティージョ・メヒア被告に対して、2016年3月の環境活動家ベルタ・カセレス氏の殺人に関する共同謀議の罪で有罪を宣告。今後、量刑宣告のための聴

聞は、8月3日に行われる。刑は、最近の改正刑法の適用により、上限が引き下げられ、25年から30年の懲役刑が見込まれるとした。

2 外交

(1) 日本関係

16日、SICA加盟各国代表は、グアテマラにて、コロナ対策、気候変動、中米移民問題及び防災等における協力について、2009年から域外オブザーバーとなっている日本の茂木外務大臣と協議を行った。ホンジュラスからは、ロサレス外相の代理としてバラオナ外務国際協力筆頭次官が出席。会合において同次官は、「日本はホンジュラス及び中米地域において大変重要なパートナーであり、コロナ対策及び昨年の暴風雨イータ及びイオタ被害において、当国に対して支援を行っている。」旨述べ、日本への謝意を表するとともに、ホンジュラスによるワクチン及び医療資機材等へのアクセスがより容易になるよう支援を求めた。

(2) 米国関係

(ア) 1日、米務省は、ホンジュラス、グアテマラ及びエルサルバドルの中米北部3か国において汚職に関与している政府関係者・元関係者を含むリスト「エンゲル・リスト」を公表した。

(イ) 10日、米国政府は、当国の沿岸監視体制強化を目的に、米国は、ホンジュラスに対し中古巡視艇「リオ・アグアン」を供与。供与式典には、ディアス防衛大臣、モレノ・ホンジュラス軍総司令官が出席した。

(ウ) 9日、当地主要各紙は、米国における移民の実態につき報じた。米国移民政策研究所(MPI)によると、2019年の米国における移民人口は、全人口の13.7%にあたる4,490万人。右の内、350万人が中米各国出身の移民であり、また、中米出身移民の86%が、ホンジュラス、グアテマラ、エルサルバドル出身である。米国には、745,000人(不法、合法含む)のホンジュラス出身の移民が在住しており、右の内、33%が永住権を取得している。当国移民局の情報によると、ホンジュラスにおける移民については、経済的な理由、治安上の問題、健康問題、留学、家庭内暴力、米国内に住む家族との共生の選択等を理由に移民を決断するケースが多い。なお、2019年には、6,353名のホンジュラス人が米国永住権を取得したとしている。

(エ) 20日、米国政府は、麻薬組織への関与が指摘されているロボ前大統領府及び公金横領の罪を問われているロボ前大統領夫人の米国への入国を拒否する旨発表した。右措置は、ロボ前大統領の息子ファビオ・ロボ(2017年に米国への麻薬密輸の罪で問われ、禁固24年の判決が下された)、娘アンバル・ロボ及び未成年の息子の計3名にも適用される。

(3) 第21回ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体(CELAC)外相会合

24日にメキシコで開催された第21回ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAC）外相会合でロサレス外相は、新型コロナ用ワクチンへのアクセス確保は、ホンジュラス、そして恐らく米州大陸の大多数の国にとって極めて重要な課題であり、人々の死のリスクを減じながら経済を活性化するために必要不可欠なものとなっているとして、保健システムの強化及び保健医療の自給体制のための計画（Plan Integral de Autosuficiencia Sanitaria）を強固に進めていく必要があると述べた。併せて、ロサレス外相は、先般メキシコがホンジュラスにアストラゼネカ製ワクチン15万回分を始めとする医薬品を供与したことに対し、改めて謝意を表明した。

- （４） 13日、昨年11月に当国において甚大な被害をもたらした暴風雨イータ及びイオタにより被害を受けた国内1,021の教育施設が、世銀の1.5億米ドルのリボルビング融資（Prestamo Revolvente）を通じ改修される旨、エスピノサ地方開発水衛生大臣が発表した。

３ 経済

- （１） ３日、中央銀行（BCH）は、2021年上半期（６月17日時点）における国外のホンジュラス人移民等の本国送金額が総額約32.15億米ドル（前年同期：約22.67億米ドル）となり、前年同期比41.8%増となった旨発表した。
- （２） 19日、国会事務局は、市民団体「全国反汚職協議会（CNA）」が、雇用経済開発地域（ZEDE）基本法は憲法違反である等として、立法過程への市民参加に関する法律（Ley de Mecanismo de Participacion Ciudadana）の定める発案権に基づき、15,041人分の指紋付署名（計11冊3,143ページ）を添えつつ、同法廃止を求める手続きを行った旨明らかにした。

<主要経済指標>

◇主要経済指標◇	2021 年				2020 年	2019 年
	7 月	6 月	5 月	4 月		
インフレ率（前年同月比）	4.26%	4.67%	4.84%	3.96%	4.01%	4.08%
貿易収支(百万ドル)	—	—	—	—	△2,557.9	△3,107.4
輸出(百万ドル)	—	—	—	—	7,683.4	8,718.3
輸入(百万ドル)	—	—	—	—	10,241.3	11,825.6
外貨準備高（百万ドル）	8,632.8	8,645.4	8,540.2	8,483.0	8,148.8	5,808.9
外国からの送金（百万ドル）	—	—	—	—	5,573.1	5,384.5
為替レート（対ドル月平均）	23.93	24.13	24.16	24.18	24.75	24.68

<出典：ホンジュラス中央銀行> ※貿易収支、輸出、輸入、外国からの送金は、四半期毎に発表

（了）